# Zeonyros<sub>85</sub>

# ピカソとその時代

ベルリン国立ベルクグリューン美術館展

### 2022年10月8日[土]-2023年1月22日[日]

ベルリン国立美術館群の一翼を担うベルクグリューン美術館は、近代美術の収集家ハインツ・ベルクグリューン(1914-2007年)のコレクションを擁する施設です。所蔵作品数は寄託作品を含めて2百数十点、その多くは比較的小ぶりの絵画ですから、美術館の規模は決して大きくありません。しかし、一流の目利きであったベルクグリューンが一点一点選び抜いた作品の質の高さゆえに、珠玉のコレクションとして世界的に有名です。

ベルクグリューンは第二次世界大戦後まもない時期からパリで画廊を経営し、近代・現代美術のディーラーとして成功を収めました。彼は売買を通じて手に入れた作品の中から、これはと思うものを手元に残すことによって収集を始め、1980年以後は事業から手を引いて収集に専念し、世界有数の個人コレクションを築きました。そのコレクションは1996年から彼の生地ベルリンのシュトゥーラー館で公開され、2004年以後はベルクグリューン美術館という名称で人々に親しまれています。

さらに、晩年のベルクグリューンは、自分の名を冠した美術館を後世に残すことを意識しながら作品の購入と処分を続けました。最終的には、パブロ・ピカソ、パウル・クレー、アンリ・マティス、アルベルト・ジャコメッティという、彼が敬愛した4人の芸術家の作品を中心として、彼自身が生きた20世紀という時代の芸術の精髄を示す、明確な特色のあるコレクションが作りあげられています。

ベルクグリューン美術館の改修を機に実現した今回の展覧会は、同館のコレクションから精選した作品97点に日本の国立美術館の所蔵作品を加え、合計108点で構成されます。これまで日本ではまとまった展観の機会がなかったピカソとジョルジュ・ブラックのキュビスム絵画、両大戦間におけるピカソ芸術の変容、ナチス・ドイツがパリを占領していた時代のピカソの異色作《大きな横たわる裸婦》、ピカソとは対照的な性格を持つクレーの内省的で想像力に溢れた作品群、さらに第二次世界大戦後におけるピカソ、マティス、ジャコメッティの円熟期の作品の競演と、多くの見どころとともに時代を追いながら、破壊と創造を繰り返した20世紀美術の優れた達成をご覧いただくことができるでしょう。

また、収集家としてのベルクグリューンの際立った個性は、 絵の額縁の趣味にも表れています。彼はピカソやクレーの作品を飾るために、あえて16・17世紀のイタリアやスペインの額縁を探し出しました。近代絵画とクラシックな額縁の意外な組み合わせも、このコレクションならではのユニークな特色です。 [本展監修者 武蔵野美術大学教授・前国立西洋美術館副館長 村上博哉] 1

- 1 パブロ・ピカソ《緑色のマニキュアをつけたドラ・マール》1936年 油彩、カンヴァス ベルリン国立ベルクグリューン美術館 ©Museum Berggruen – Nationalgalerie, SMB / bpk / Jens Ziehe © 2022 - Succession Pablo Picasso - BCF(JAPAN)
- 2 パブロ・ピカソ《大きな横たわる裸婦》1942 年 油彩、カンヴァス ベルリン国立ベルクグリューン美術館 © Museum Berggruen – Nationalgalerie, SMB / bpk / Jens Ziehe © 2022 - Succession Pablo Picasso - BCF(JAPAN)
- 3 パブロ・ピカソ《窓辺の静物、サン=ラファエル》1919年 グアッシュ・鉛筆、紙 ベルリン国立ベルクグリューン美術館 © Museum Berggruen – Nationalgalerie, SMB / bpk / Jens Ziehe © 2022 - Succession Pablo Picasso - BCF(JAPAN)
- 4 パウル・クレー《中国の磁器》 1923 年 水彩・グアッシュ・ペン・インク、 石膏ボード、合板の額 ベルリン国立ベルクグリューン美術館 © Museum Berggruen – Nationalgalerie, SMB / bpk / Jens Ziehe
- 5 アンリ・マティス (雑誌『ヴェルヴ』第4巻13号の表紙図案) 1943年 切り紙、 カンヴァスに貼り付け ベルリン国立ベルクグリューン美術館、ベルクグリューン家より寄託 © Private Collection, on loan to Museum Berggruen – Nationalgalerie.
- © Private Collection, on loan to Museum Berggruen Nationalgalerie,
  Staatliche Museen zu Berlin / bpk / Jens Ziehe
- 6 アルベルト・ジャコメッティ《広場 II》 1948-49年 ブロンズ ベルリン国立ベルクグリューン美術館 © Museum Berggruen – Nationalgalerie, SMB / bpk / Jens Ziehe

### Exhibition

# 版画で「観る | 演劇

フランス・ロマン主義が描いたシェイクスピアとゲーテ 2022年10月8日[土] - 2023年1月22日[日]

18世紀後半から19世紀前半にかけて勃興したロマン主義 運動は、文学・音楽・美術など分野を超えて展開し、なかで もフランス・ロマン主義においては外国文学と演劇を着想源 とした情感豊かな作品が生み出されました。特に古典演劇 の規範から外れた自由な構成で、運命や自然に抗い苦悩 する人間の姿と心理を描いたシェイクスピアとゲーテの戯曲 は様々な芸術家たちに影響を与え、美術においては画家ウ ジェーヌ・ドラクロワ(1798-1863年)とテオドール・シャセリオー (1819-56年)に霊感をもたらしました。

本企画では、当館所蔵作品より、ドラクロワ最初の文学 主題版画とされる《魔女たちの言葉を聞くマクベス》をはじ め、ロマン主義版画における金字塔ともいうべき連作の数々 ―ドラクロワの〈ファウスト〉と〈ハムレット〉、そしてシャセリオー の〈オセロ〉―を展覧します。同時代の舞台表象の影響をう かがわせる一方で、いずれも場面にみなぎる感情の描出に おいて独創性を有するこれらの作品は、まさに二人の画家の 綿密な精読と豊かな想像の結実ともいうべきものです。

シェイクスピアとゲーテによって生み出され、ドラクロワと シャセリオーにより新たな命を吹き込まれた登場人物たち、そ して彼らの織りなすドラマの数々をご堪能ください。

[国立西洋美術館特定研究員 浅野菜緒子]









ウジェーヌ・ドラクロワ《シェイクスピア『ハムレット』による連作:テラスの亡霊》 1843年 リトグラフ 国立西洋美術館

# 2020-21年度新規収蔵作品より

# | 2020年度収蔵 | ジョン・エヴァレット・ミレイ《狼の巣穴》



ジョン・エヴァレット・ミレイ《狼の巣穴》 1863年 油彩、カンヴァス 83.8cm×114.3cm 国立西洋美術館 旧松方コレクション グランドピアノを狼の巣穴に見立てて遊ぶ画家の4人の子供 たち。作者J.E.ミレイはヴィクトリア朝イギリスを代表する画 家で、初期にはラファエル前派兄弟団の創設にも加わってい ます。暖色のゆったりとした筆遣いで描かれた本作は《最初 の説教》などとともに1863年のロイヤル・アカデミー展に出品 された重要作です。背景を占めるグランドピアノの上部や左 右をカンヴァスの端で断ち切ることで大きさを際立たせ、床の 上の子供たちの低い目線に鑑賞者の目線が合うように巧み に構成されています。子供たち各々の個性や年齢を巧みに 表現しつつ、家庭の日常的な情景を生き生きと描いた本作は 家族の肖像画でもあり、風俗画でもあると同時にどちらでもな く、その意味で非常に19世紀的です。また、愛らしい子供を 物語的な雰囲気の中で描く18世紀以来の「ファンシー・ピク チャー」の展開を考える上でも興味深い作品です。ミレイはこ の絵画ジャンルを中流階級の趣味に即した現代的なものへ 生まれ変わらせ、広く人気を博していきました。なお、本作は松 方幸次郎(1866-1950)がおそらく20世紀初頭のロンドンの画 廊で購入したもので、1920年代に散逸した松方コレクション 「国立西洋美術館主任研究員 陳岡めぐみ〕 の一部です。

# 2021年度収蔵 アクセリ・ガッレン = カッレラ《ケイテレ湖》



アクセリ・ガッレン=カッレラ《ケイテレ湖》 1906年 油彩、カンヴァス 61cm×76.2cm 国立西洋美術館 フィンランド中部にあるケイテレ湖を描いたこの作品は、まさに、美しい森と湖で知られるこの北欧の国を代表する風景画と言えるでしょう。作者はアクセリ・ガッレン=カッレラ。日本ではまだあまり馴染みのない名前ですが、近年著しい国際的評価の高まりを見せているフィンランドの国民的画家です。画面の大部分を占めるのは、周りの風景を映し出す澄み切った湖面。そこに大胆に配されたさざ波のパターンの装飾性が印象的ですが、これはフィンランドの一大民族叙事詩「カレワラ」の主人公である英雄ヴァイナモイネンが漕ぐ船の航跡を暗示するともいわれ、当時ロシアの支配下にあった同国の愛国主義の高まりという背景も見てとれます。

《ケイテレ湖》は4つのバージョンが知られていますが、ほかの3点はすでにヨーロッパの美術館に収蔵あるいは長期寄託されていました。この《ケイテレ湖》は、ノーベル賞の生みの親であるスウェーデンの化学者アルフレッド・ノーベルを輩出したノーベル家が画家から直接購入し、その子孫に受け継がれたのち、国立西洋美術館が収蔵するにいたりました。今後は当館常設展にて、デンマークの画家ヴィルヘルム・ハンマースホイの《ピアノを弾く妻イーダのいる室内》とともに、北欧絵画の魅力を存分に伝えてくれることでしょう。

[国立西洋美術館特定研究員 久保田有寿]

# 常設展「コレクション・イン・フォーカス」について

今年4月のリニューアルオープン以来、常設展の展示に少し変化を加えました。日本で唯一、西洋絵画史の流れを概観できる場としての枠組みを維持しながらも、随所に所蔵品による小規模な企画展示を組み込み、とりわけテーマ性の高いものを「コレクション・イン・フォーカス(Collection in FOCUS)」と名付けて、解説パネルとともに展示しています。

本年度(8月現在)は、本館で①当館第2代館長山田智三郎による古典絵画収集について、②カルロ・ドルチの色材調査、③バスケニスとハンマースホイを対比した「黙せる音楽」、そして新館で④モリゾと近代都市の女件像、

⑤新収作品クローデル《ペルセウスとゴルゴーン》紹介と、5つのコーナーを作っています。③と ④に関しては、9月下旬に別の企画と交代の予定ですが、それ以外は本年度末まで継続し、 今後も基本的に1年ごとに新しい内容に組み替えていく予定です。

こうした試みにより、これまでの通史展示ではお見せすることの難しかった、所蔵作品に関するより詳細な考察や、作品同士の新たな対話、そして調査研究の成果などを、より積極的に発信していきたいと考えています。

[国立西洋美術館絵画彫刻室長 川瀬佑介]



### News

# (株)ニッピ、(一財)日本皮革研究所との共同研究により開発した 「コラーゲン由来材料の動物種を判定する方法 | が特許(特許第7080034号)を取得しました

この方法では、絵具の固着剤などとして使用されている膠(にかわ)が、どんな動物を原材料としているかを判別することができます。膠は、動物の骨、皮、腱などから抽出されたコラーゲン(タンパク質の一種)を主成分とする画材で、古くから壁画やテンペラ画や写本における絵具の固着剤として、あるいは油彩画においてカンヴァスや板の目止めや地塗りなどに使用されてきました。日本画でも、絵具の固着剤として使用されています。

コラーゲンは、何種類ものアミノ酸が長い鎖 のようにつながったものです。このアミノ酸配列 は動物によって微妙に異なるので、質量分析装置を使って配列を調べれば、膠の原材料となった動物がわかります。しかし、配列がデータベースに未登録の動物が使われている場合や、複数の動物を原材料とした膠の場合には、うまくいきません。そこで私たちは、動物を判定するためのマーカーとなる12種類のペプチド(いくつかのアミノ酸がつながったもの)を決めておき、サンプル中にこのマーカーペプチドがあるかないかを調べることで、8種類の動物(ウシ、ウマ、ヒツジ、ヤギ、ブタ、シカ、ウサギ、チョウザメ)を判定する方法を開発しました[図1]。

今後、この方法を使って調査を進めていくことで、美術品が制作された当時の動物利用の実態や、芸術家が使用した材料・技法などがわかってくるでしょう。たとえば、当館所蔵作品であるカミーユ・ピサロ《収穫》(1882年、膠テンペラ/カンヴァス)の地塗り(目止め部分を含む)を調べたところ、ウシとヒツジの膠が含まれていることがわかりました。詳細は、(株)ニッピのホームページにて、バイオマトリックス研究所『所員による研究レポートNo.007』またはKumazawa et al., Heritage Science (2018)6:43をご参照ください。

[国立西洋美術館特定研究員 高嶋美穂]

		1	*		1	TA	*	4	<b>*</b>
マーカーペプチド	アミノ酸配列	ウシ	ウマ	ブタ	ヒツジ	ヤギ	シカ	ウサギ	チョウザメ
P1	GFOGADGVAGPK	0	0	0	1	-	0	0	7
P2	GFOGSDGVAGPK	7	-	Fall	0	0	175	F-1	-
P3	GAAGPOGATGFOGAAGR		_	_	-	-	-	_	0
P4	GETGPAGROGEVGPOGPAGEK	0	-	F)	-	0	0	0	-
P5	AGEVGPOGPOGPAGEK	-	<u> </u>	=	0	=	9	=	-
P6	GEAGPAGPAGPIGPVGAR	-	0	-	-	-	-	-	-
P7	GETGPAGPAGPAGAR	-	-	-	-	-	-	-	0
P8	GIOGPAGAAGATGAR	_	0	0	-	_	1	-	_
P9	GLVGEOGPAGTK	=	<u> </u>	=	1			0	1 8
P10	GFOGSOGNVGPAGK	-	-	0	15	-	15	70	15
P11	IGQOGAVGPAGIR	0	1	-	-	-	-		1
P12	TGQOGAVGPAGIR	=		0	0	0	0	=	- 1
	0-1-12-1-2-11								

O=ヒドロキシプロリン

### [CAFÉ すいれん]

営業時間:10:00-17:30(食事11:00-16:45 | 喫茶10:00-17:15)/金・土曜日10:00-20:00(食事11:00-19:10 | 喫茶10:00-19:30) **「ミュージアムショップ**]

当館の収蔵品をもとにしたオリジナルグッズや、当館の収蔵品カタログ、過去に開催された展覧会のカタログ等を販売しています。 内藤裕史氏より寄贈された彩色写本の小企画展が2019年から3期に分けて開催されました。このたび、鑑賞された多くの方からご要望 のあった写本リーフ作品選の販売をはじめました。

また、今年度からお目見えしご好評いただいているのは、写本の1ページをそのまま使用したパッケージに包まれたパウンドケーキ。こだわ りの素材を使用した濃厚なチョコレート生地にオレンジピールのほろ苦さがアクセントになっています。このほか、写本を用いたグッズも 多数ご用意しておりますので、ぜひお立ち寄りください。







1 文字と絵の小宇宙 国立西洋美術館所蔵 内藤コレクション写本リーフ作品選 2,300円(税込)

2 プレミアムパウンドショコラ 2,268円(税込) | 3 写本しおり 5種 各180円(税込)

展示カレンダー[企画展示/常設展示] 2022年10月-2023年1月

10月 [Oct.] 11月[Nov.] 12月 [Dec.] 1月 [Jan.]

常設展 | 2022年4月9日[土]より通年で開催

[企画展] ピカソとその時代 ベルリン国立ベルクグリューン美術館展 | 10月8日「土] - 2023年1月22日[日]

[小企画展] 版画で「観る | 演劇 フランス・ロマン主義が描いたシェイクスピアとゲーテ | 10月8日[土] - 2023年1月22日[日]

「開館時間 ] 9:30-17:30 (金・土曜日 9:30-20:00) \*入室は閉室の30分前まで

[休館日] 月曜日(月曜日が祝日又は祝日の振替休日となる場合は開館し、翌平日休館)、展示替期間

年末年始(12/30~1/1)、臨時休館日

[臨時開館・臨時休館のお知らせ]

臨時開館: 2022年12月28日[水]、12月29日[木]、2023年1月2日[月]

臨時休館:2022年10月7日[金](展示替え及び展覧会開催準備のため)、

2023年1月23日 [月] ~ 3月17日 [金] (館内整備のため)

[常設展無料観覧日]5月18日(国際博物館の日)、11月3日(文化の日)

### 「堂設展]

国立西洋美術館は、松方コレクションが 核となって1959年に設立された、西洋の 美術作品を専門とする美術館です。

中世から20世紀にかけての西洋絵画と、 ロダンをはじめとするフランス近代彫刻な どを本館、新館、前庭で年間を通じて展 示しています。

展覧会名、会期、展示内容等は変更の可能性があります。最新の情報は国立西洋美術館公式ホームページをご確認ください。



The National Museum of Western Art

「東京・上野公園]

国立西洋美術館

〒110-0007 東京都台東区上野公園 7-7 公式ホームページ https://www.nmwa.go.jp/ お問合せ 050-5541-8600(ハローダイヤル)



[国立西洋美術館 SNS 公式アカウント] Twitter @NMWATokyo Facebook @NationalMuseumofWesternArt Instagram @NMWATokyo